図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉　おしらせ No. 211　　2022・1・19

名代に　わか水浴びる　烏かな

－ 一茶 －

窮屈な日々もそろそろ終わるか、
と、期待を持ち始めた矢先、
オミクロンという新手が現れて、
私たちは更にしばらく
窮屈さを抱えて
生きてゆくことになりそうです。

2022 年。
少しずつでも、明るい日常が
戻ってきますように！

○　CONTENTS　○

	PAGE
☆　新年のご挨拶	･･･1
☆　2021 年度活動報告・ 2022 年度活動計画(案)	･･･2
☆　TOTOMO で通年活動する４つの会。昨年の活動を報告します	･･･3
☆　「間島弟彦生誕 150 年 間島夫妻の事跡を辿る」に参加して　松下 和代	･･･4
☆　湘南邸園文化祭イベント参加者のご感想いろいろ	･･･5
☆　松坡先生をめぐる人々4 大橋康邦　袴田 潤一	･･･6
☆　映画と本と図書館と/銀幕情報 /署名活動へのご意見紹介	･･･7
☆　図書館まつりF☆Lのお知らせ/図書館振興基金寄付報告	･･･8
☆　速報！出版事業への図書館振興基金活用に関する答弁書が出されました	
☆　「図書館とともだち」の皆様へ、年始の静かな図書館にて　戸村 元郁	･･･9
☆　ボランティア連絡協議会報告/協働事業推進部会報告	･･･10
☆　総会案内・会費納入のお願い・寄付者紹介・活動日誌	･･･11
☆　事務局から	･･･12

新　年　の　ご　挨　拶

図書館とともだち・鎌倉　代表　和田 安弘

昨年の TOTOMO の活動の中心は司書の新規採用を求める署名活動でした。おかげ様で全国から４２００筆余りの署名を集めることができ、市議会に提出した陳情も賛成多数で採択されました。会員をはじめ署名に協力してくださった皆様に感謝申し上げます。

昨年はまた引き続きコロナ下での活動の難しさを感じる一年でもありました。それでも感染状況が厳しいほど図書館が市民にとっていかに身近で必要不可欠な存在であり、そこで働く司書の役割がいかに大きいかがより明らかになったと確信することができました。

コロナ・パンデミックは大きな災厄ではありますが、同時に人々の生存と生活をぎりぎりのところで支えているものは何かということを気づかせてくれました。それはエッセンシャルワーカーと言われる医療、福祉、保育、飲食、配送などに携わる働き手の存在です。保健所などの公共機関で働く人たちも含まれます。いずれも社会的必要性の高い仕事です。

しかし、これらの仕事の担い手の処遇は総じてよくありません。仕事に見合った人員配置や待遇が求められます。図書館司書もエッセンシャルワーカーにほかなりません。その仕事の質や社会的必要性の高さを今後も訴え、それに見合った職員配置を求めて活動を続けていく所存です。今年もどうぞよろしくお願い致します。

2021 年度活動報告

〈重点事業〉

① 図書館司書職員採用に向けた取り組み

② 旧鎌倉図書館保全活動

③ 図書館長、図書館員、図書館協議会委員との懇談など

④ ファンタスティック☆ライブラリー企画・参加

⑤ 図書館見学会

⑥ NPO フェスティバル、地下道ギャラリー展、その他イベントへの参加

⑦ 会報発行、定例活動

COVID－19 の感染拡大により、緊急事態宣言が、年初から９月末までと長い期間に何度も発出されました。私たちの活動もおのずと縮小せざるを得ませんでしたが、大切だと思うことをできる範囲で取り組んでまいりました。「2020 年度会員総会」は初めて書面総会にさせていただきました。①図書館司書職員採用に向けた取り組みとして「鎌倉市に司書資格をもつ正規職員の新規採用を求める署名活動」を行いました。その後、議会に陳情し、10 月 1 日の本会議において採択されました。署名活動では皆様にも多大なるご協力をいただきました。感謝申し上げます。②旧図書館保全活動については市長への手紙を出し、丁寧な回答をいただきました。また部材保管庫の見学もしました。③集まった署名を提出後、市長、教育長、館長と面談することができました。④ファンタスティック☆ライブラリーは展示中心ではありましたが、無事に開催できました。さらに図書館 HP の特設ページで閲覧もできました。⑤外部図書館の見学会はできませんでした。⑥NPO フェスティバルは屋外での開催となりました。地下道ギャラリー展は例年通り参加。湘南邸園文化祭に旌徳の会のイベント〈間島弟彦生誕 150 年　間島夫妻の事跡を辿る〉で参加しました。⑦会報は予定通りすべて発行。例会は 2 ヶ月間休会しましたが、その間メール等でやりとりをし、常に情報交換ができるよう努めました。

2022 年度活動計画(案)

〈重点事業〉

① 専門職としての司書の正規職員新規採用に向けた取り組み

② 読書バリアフリー法をふまえた図書館の障がい者サービス拡充に向けた取り組み

③ 図書館振興基金の活用に関する取り組み

④ 図書館長、図書館職員、図書館協議会委員、教育委員、社会教育委員との懇談

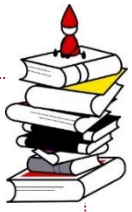
⑤ 旧図書館保全活動

⑥ ファンタスティック☆ライブラリーへの企画・参加

⑦ ＮＰＯフェスティバル、地下道ギャラリー展、その他イベントへの参加

2022 年（令和４年）となりました。昨年末、落ち着いてきた COVID-19 でしたが、新しいオミクロン株の感染が拡大してきています。2022 年度の活動も思うようにいかないかもしれませんが、重点事業として 7 項目を掲げたいと思います。とにかくできる範囲で活動していきたいと思っています。皆様からのご意見ご感想は私たちにとってたいへん励みとなっています。本年もご協力よろしくお願いいたします。

♪TOTOMO で通年活動する４つの会。昨年の活動を報告します♪



読書会

2021 年度もＣＯＶＩＤ－19 の影響で延期が続き、5 月以降の 4 回の開催でした。

5 月初めに、メンバーのおひとりの池畑さんが急逝され、5 月 28 日の読書会ではご冥福をお祈りするとともに、池畑さんが推薦された『ノンちゃん雲に乗る』について語り合いました。

ワクチンが済んだこともあって､8 月と 10 月はいつも通りの読書会を行いましたが､参加者は少なめ。11 月 26 日は、久しぶりに多くの方にご参加いただき、活気ある読書会となりました。本はひとりで読めますが、語り合える場があることで、本についての理解も深まりますし、思ってもいなかった世界を知ることができます。読書会ができることの幸せを思う 1 年でした。（杉崎敦子）

おはなしひこうせん

年明け早々に 2 回目の緊急事態宣言が出て、1 月から 3 月は通常の勉強会はできませんでしたが、Ｆ☆Ｌ109 はパネル展示とネット配信で 1 月 27 日～3 月 7 日に開催されました。ひこうせんでは、「絵本で旅をしませんか」をテーマにパネル展示を行いました。おはなし会ができなかったのは残念でしたが、展示は長期間各館を巡回でき、図書館のＨＰで家に居ながら閲覧できたのはよかったと思います。9 月からは、Ｆ☆Ｌ110 に向けて準備をしています。

4 月に「西鎌みんなの家」からお誘いがあり、見学や打ち合わせを重ね、1 月にプレイルームを利用した「子育てサロン 西鎌倉ぽっけ」でおはなし会をする予定です。（このおはなし会は 1 月 14 日(金)に実施しました。）

ＮＰＯフェスティバルは、11 月 13 日、14 日に広町の森で開催され、芝生広場でおはなし会を行いました。久しぶりのおはなし会を青空の下、子どもたちとおおいに楽しみました。（杉崎敦子）

とても朗読の会

8 月～12 月　毎月 1 回　保育園みつばち　３～５歳児　　絵本読み

感染症の心配から、当初活動を休止していましたが、夏になり、保育園から活動の再開をお願いしたいと連絡がありました。1 年 3 か月振りです。子ども達は、元気でしっかりと聞いてくれました。季節を感じる本、体についての本、などを朗読。

11 月 6 日（土）　　保育園みつばち 20 周年記念イベント

保育園開設 20 年を記念した、子ども達対象の行事での依頼でした。毎月の絵本読みとは違い、次々と手遊びをしました。大型絵本「おめんです」「からすのパンやさん」を朗読。読み終えた絵本から、一人ひとりに好きなパンを選んでもらいました。（中村都子）

間島弟彦・間島愛子夫妻　旌徳の会

発足してわずか 2 年ですが、昨年は間島弟彦生誕 150 年を記念し、「湘南邸園文化祭 2021」に参加する形で講座＆見学のイベントを行いました。「間島夫妻の功績を初めて知りました」と、今後の活動を期待される感想をいただき、大きな励みになりました。ファンタスティック☆ライブラリー（図書館巡回展+地下道ギャラリー展示）や NPO フェスティバルでの発表、市役所ロビーのパネル展示、中央図書館貴重書（間島文庫）の保護カバー作りや碑の拓本採りなど初めてのことにも挑戦し、アタマと手をフル回転させながら楽しく活動することができました。（鈴木保美）

昨秋、「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」は『第 16 回湘南邸園文化祭 2021』に参加しました。同文化祭への参加は 2016 年以来 2 回目となります。間島弟彦氏生誕 150 年という節目の年を迎え、間島夫妻の功績の数々を紹介する良い機会となりました。「とと も」としては、2019 年の青山学院日本文学科 OB 会「間島夫妻を知るための講座と見学」への協力に次いで 2 度目となるイベントで、この２年の研究成果を加えた資料作成や、紅葉シーズンの鎌倉を楽しんで頂けるようなコース作りなどを工夫し、3 時間半に及ぶ三部構成の企画となりました。国宝館特別展の時期に合わせられたのも幸いしました。第一部の講座「間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉」は和田、第二部の見学「旧鎌倉図書館→間島君旌徳碑→寿福寺→英勝寺→鎌倉国宝館」は鈴木が担当し、第三部の国宝館特別展『間島弟彦と黎明期の鎌倉国宝館』見学と解説は金子学芸員にお願いしました。ご参加の方々からいただいた感想をご紹介します。

第 16 回湘南邸園文化祭関連イベント
「間島弟彦生誕 150 年 間島夫妻の事跡を辿る」に参加して

NPO 法人 鎌倉ガイド協会会員　松下　和代

第 1 部は、スライド使用の座学で、間島弟彦・愛子夫妻の夫々の生涯について掘り下げたお話を伺いました。間島氏はともかく、愛子夫人については予備知識がなく、愛子氏が東京婦人会館の役員をされていたことに驚きました。フェミニズムの先駆け、頼もしく感じたのは私だけではなかったはずです。旧鎌倉図書館や鎌倉国宝館をはじめとする教育文化施設への寄付、その額、何よりご主人亡き後に貫き通された固いご意思に感服しました。

英勝寺山門

第 2 部の見学ツアーでは、「旧鎌倉図書館」（仮称おなり子どもの家として保存・活用のため耐震改築及び増築工事中）を皮切りに、御成小学校敷地内にある間島君旌徳碑を確認、次いで壽福寺へ。墓苑で間島夫妻とゆかりの方々の墓碑やら歌碑やらをご紹介いただき（田邊新之助/海上寿子等）、名刹英勝寺では、美しい山門を見学しました。3 円 50 銭で売りに出されていたのを間島氏が買い取り 2 千円かけて、白水荘に再建されたとのご説明。英勝寺が部材を買い戻した段階で県重文、そして、今や国重文になりました。この山門は、英勝院(開基)の一周忌のために高松 12 万石初代藩主松平頼重が建立した歴史があるものです。頼重は水戸初代藩主徳川頼房の長男で、父頼房は、家康との子「市姫」を亡くしたお勝の方（＝英勝院）の養子になりました。だから頼重にとっては、英勝院はおばあちゃん。そのおばあちゃんに頼重は（その弟の光圀も）とても助けられました。特に頼重は光圀より早くに生まれるも、水戸藩の嗣子には結局、光圀が入り、出家するはずのところ、英勝院の計らいで讃岐高松 12 万石の藩主となったという経緯があります。つまり頼重のあたたかい思いを感じるこの山門が今現存するのはまさに、間島氏のお陰に他なりません。

この後、間島弟彦生誕 150 年記念で特別展が開かれている鎌倉国宝館へ。学芸員の金子氏によるご案内付きで、30 分程見学しました。中央ガラスケースに愛子氏による寄付関連の書簡、鎌倉国宝館の開館以来の庶務日誌等。他に、白瀧幾之助画の間島弟彦像（油絵)。当時の鎌倉国宝館応接室に掲げられていたという間島氏の肖像写真。これについては、学芸員の方が、間島夫妻が眠る東京の青山墓地に立ち寄られお参りされた数日後、史料捜索をしていた時に、普段はめったに見ることが無い場所を脚立に上がって何となく覗いてみたところ、この古い大きな額が現れたとお話され、印象に残りました。「間島君旌徳碑」（現状では、碑面が読めなくなっています）の立派な拓本も忘れられません。

というわけで、このイベントには大満足でした。間島夫妻のゆかりの場所を訪ねる史跡めぐりコースを是非企画してみようと思い立った次第です。

＊ご参加くださった方々からの感想を、更にご紹介します＊

鎌倉生れの鎌倉育ち、居ながらにして歴史を学べる何と幸せなこと、明治は両親の生まれた時代でもある。明治、大正、昭和を生きた人達にとっての鎌倉に思いを馳せる・・・ゆっくり時が流れた様に想像するが、間島弟彦は 57 才という短い生涯に、たくさんの足跡を残してくれている。この狭い鎌倉で、いくつもの彼の存在がある事を、この会で知ることが出来ました。ますます深く鎌倉を知りたいと胸をときめかせています。I

「間島弟彦と黎明期の鎌倉国宝館～その知られざる物語～」開催中の鎌倉国宝館　入口

NPO センターで行われた講座「間島弟彦・間島愛子と鎌倉」

倒壊した英勝寺山門を移築した方として間島さんのお名前は何度も伺っていましたが、間島夫妻についての詳しいお話は今回が初めてで、あらためて知ることばかりでした。M

学芸員の方の説明で、5 万円の寄附金は米山梅吉の信託銀行で運用する契約をしたというのが、考えれば不思議ではないのだけど、（当時でも）そういう方法があったのかと驚きました。N

今回、間島弟彦氏の功績だけでなく関東大震災の被害の大きさなど、初めて聞く事ばかりでした。講座で丁寧な説明を聞いていたので、国宝館の展示も、よく理解出来ました。学芸員の方が見つけた弟彦氏の写真が素敵でした。一番、興味を持ったのは、愛子夫人です。今の時代に生きていたら、その生き方は大いに私たちに影響を与えてくださったことでしょう。N

見学ツアーは旧図書館を経て寿福寺へ。
（この後、英勝寺へ向かいました。）

歌人・海上寿子歌碑の前で（寿福寺）

間島弟彦が幅広く鎌倉の名士と付き合っていたことを初めて知りました。田邊新之助の墓や海上寿子の碑など、寿福寺の墓地を違う感覚で見ることができて新鮮でした。紅葉も最高でした！K

鎌倉には、私など知らなかった歴史が、積み重ねられて何か深く豊かな町になっているのだなと思いました。ありがとうございました。T

松坡先生をめぐる人々 ４　大橋康邦

松坡文庫研究会　代表　袴田 潤一

新しい年を迎えました。松坡先生の「庚子元旦」と題された詩の冒頭「眼前新日月　萬象一時遒（眼前日月新たなり、万象一時に遒（せま）る）」を思います。森羅万象を曇りのない新鮮な眼差しで見ることができたら。

さて、神奈川師範学校の絵画の教師として赴任し、鎌倉の風土・文物を深く愛して画をもって鎌倉の人々に親しまれた大橋康邦（おおはしやすくに）（1865～1948　字は正堯（まさたか））も松坡先生、或いはまた阪正臣や片野晃陽と親しく交際した一人です。

大橋康邦は岡山吉備郡高松（現岡山市北区）に生まれ、松原三五郎・中川八郎に師事し、明治 34（1901）年、新古美術展で一等賞褒状を得、文展にもたびたび入選しました。洋画を学び水彩画に優れましたが日本画もよくし、豪山の号が記された「林学一（はやしふいち）像」（倉敷市美術館）が有名です。一方、兵庫県洲本中学校を経て、明治 35（1902）年から神奈川師範学校に奉職、38（1905）年夏の辞職後は鎌倉に住みました。松坡先生との親交は松坡先生が鎌倉に移り住んだ明治 38（1905）年頃に始まったと思われます。

大橋康邦と松坡先生の交友についていくつか紹介しましょう。

一つは、松坡先生が大橋康邦の作品に序を寄せていることです。関東大震災の直後、大橋康邦は被災の惨状を16図の水彩画に描きました（「大正鎌倉大震災寫生画」）。その連作は昭和 5（1930）年 8 月に鎌倉国宝館（1928 年開館）に寄贈され、それ以前に寄贈された藤原草丘の「震災図巻」（全 6 巻）とともに同年 9 月 1 日と2 日に開かれた「震災記念展」で展示されました。「震災記念展」は鎌倉国宝館での重要な展覧会と位置づけられ、昭和 13 年まで毎年続いたそうです。国宝館への寄贈にあたってその作品に「弁言」（序）を寄せたのが松坡先生でした。「弁言」には被災した画家自身が震災後十数日にしてようやく画筆を手にすることができ連作となったことが紹介されています。寄贈については次のようにあります。

大功寺前の鎌倉町役場（大橋康邦画「鎌倉大震災図」全 16 図のうち）　鎌倉国宝館所蔵

館、嚮（さき）に藤原草丘の震災図巻を収め、今又君の画を受く。一は南宗に属し、一は水彩描寫に係り、全く異なりて写実の精則に至るは、彼の者に勝る有り。今、二画を一堂中に展観せらるるは、震災の参考に於て毫髪も憾無し。

二つ目は、この連載第 2 回で紹介した阪正臣への書画帖です。松坡先生など「鎌山」同人 16 名が書画を一帖として喜寿を迎えた阪正臣に贈呈しましたが、大橋康邦も同人の一人でした。松坡先生と大橋康邦は、阪正臣や海上寿子、片野晃陽などと共に鎌倉文人サロンの仲間だったのです。

大橋康邦が鶴岡八幡宮、建長寺など鎌倉の名勝を描いた 12 点の連作に寄せた「題大橋觀籟鎌倉十二景」と題された松坡先生の連作詩もあります。「觀籟（かんらい）」は康邦の堂号です。片野晃陽上人ともゆかりの深い比企谷妙本寺を詠んだ第八首を紹介しましょう。

其八　比企谷　　其の八　比企谷

林壑陰深樹掩天　林壑（りんがく）陰深として 樹 天を掩（おお）い
法華堂外鼓聲傳　法華堂外　鼓声伝う

幾基苔碣埋幽恨　幾基の苔碣（たいけつ）　幽恨を埋め
蘿月松風七百年　蘿月（らげつ）　松風　七百年

林壑は林と谷、苔碣は苔むした碑、蘿月は蔦葛らを照らす月或いはそこからもれる月光。北条氏に滅ぼされた比企氏の恨みも詠み込まれています。康邦の「鎌倉十二景」が観られないのが残念です。

第38回 映画と本と図書館と

『ガーンジー島の読書会の秘密』

（原題：*The Guernsey Literary and Potato Peel Pie Society*）
（2018年・イギリス・フランス制作／監督：マイク・ニューウェル ）
スタジオカナル/キノフィルムズ配給（日本公開2019年）

「かまくら銀幕上映会」ナビゲーター　　田邊 恵美

2022年。のちに振り返るとほんの短期間に思えるかもしれませんが、始まってほぼ２年近く、コロナ禍真っ只中？残り期間が表示されないので余計憂鬱になるのかもしれません。あれこれ出来ない事を嘆いてもキリがない。今だから出来る事を探して新たなチャレンジも、また良し。

さて、この連載開始以来、映画を観ていて本や図書館が出て来ると「おっ！この作品を今度書こう」なんてよくあります。この作品は、書けそうと思って観に行って、ウンウン良く出来ているし、シックだし、でも何となく引っかかりが足りずそのまま寝かせておいたところ、ある日ふと発見したのです。

ガーンジー島、フランスの方が近いけれどイギリス領の島。近年はタックス・ヘイヴンとしてこの名前は経済面で見かける事もあるけれど、見落としていました。ここは亡命していたヴィクトル・ユーゴーがあの『レ・ミゼラブル』を書き上げた場所でもあったのです！

濃厚な牛乳を産出するガーンジー牛の名前は知っていましたが、映画に出て来るのは牛でなくて何故か可愛い豚。ガーンジー島のWikipedia日本語版には文化面での加筆が望まれるとのみ。英語版を見ない私が甘かった。

そう思うと、あの背景はシックなだけでなく、俄然深みを帯びて見えます。歴史のある地を訪ねた時、適切なガイドを受けると風景がよりドラマティックに見えるようなものかもしれません。やっぱり知るって楽しいものです。本年もどうぞよろしくお願い致します。

かまくら銀幕上映会のお知らせ（主催：ドリーム・アーツ（03-5969-8081）於：鎌倉芸術館小ホール

1/20（木）『メイキング・オブ・モータウン』　　2/21（月）『椿の庭』
3/8（火）『ベル・エポックでもう一度』　　3/22(火)『沈黙のレジスタンス』

◎前売り券：1000円（当日券：1300円）　◎上映時間①11：00～ ②14：00～
☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館（0467-48-5500）へお問い合わせください。
☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます

昨年行った電子署名に添えていただいたご意見を、会報210号に引き続き今月もご紹介します

図書館には司書資格を持った正職員が必要です。コロナ禍でも、いやコロナ禍だからこそ図書館から本を借りて勉強をしたい人が多いはず。そういう市民の知的欲求にこたえるためにも、司書資格をもつ正職員を採用してくださるようお願いします。(M.N)

日頃から「専門家・専門職」への理解が乏しいと感じています。昨日図書館でレファレンスを受けてきました。本があるだけでは図書館は機能しません。その中から私たちが求めている情報を手渡してくれる人が必要だと実感しました。この要望に賛同します。(M.I)

鎌倉市の歴史と文化を支えてきたのは、市民です。その市民力を支えるのが図書館の役割です。図書館には市民と共に学びあう専門性のある司書が必要です。専門性とは地域社会に今求められる資料と情報を提供できる力です。専門性を発揮できるのは安定的な雇用の保障が必要です。署名に賛同します。(F.I)

図書館まつり
ファンタスティック☆ライブラリー110のお知らせ！

図書館と市民団体の協働事業「ファンタスティック☆ライブラリー」。
今年もリアルとオンラインのハイブリッドな図書館まつりが開催されます！
最寄りの図書館や鎌倉市図書館のホームページへぜひお運びください。
ツイッター配信や YouTube 配信もお見逃しなく♪

日時：令和４年２月 11 日（金）～３月 13 日（日）
場所：鎌倉市内の各図書館展示コーナー 及び 鎌倉市図書館ホームページ
https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/

A. おはなしひこうせん 「あんな絵本、こんな絵本 in 鎌倉」※ＴＯＴＯＭＯ共催事業
鎌倉ゆかりの絵本作家の作品を紹介します。

B. かまくら女性史の会 「かまくらの保育」
ハリス記念鎌倉幼稚園・鎌倉保育園・明治幼稚園・順光幼稚園について紹介します。

C. 松坡文庫研究会 「石に刻まれた松坡をめぐる会」
田辺松坡は逗子開成中学校・高等学校および鎌倉女学院の創立者で、昭和 22 年、鎌倉図書館（当時）に蔵書が寄贈され、貴重コレクションとして保存されています。田辺松坡の撰文・書による鎌倉市内各処の石碑等を紹介します。

D. 間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会 「間島弟彦生誕 150 年記念 間島夫妻の事跡を辿る」
鎌倉における間島夫妻ゆかりの場所を紹介します。 ※ＴＯＴＯＭＯ共催事業

今年度も「図書館振興基金」へ寄付をしました

12 月 23 日、TOTOMO は、朴澤中央図書館長へ「図書館振興基金」10,000 円をお届けしました。
鎌倉市図書館 100 周年の 2011 年に制定された「鎌倉市図書館振興基金」。
TOTOMO では、翌年 2012 年より、毎年 10,000 円を、2017 年には NPO フェスティバルでの古本市の売り上げから 25,000 円を寄付してまいりました。総額は、125,000 円になります。今後も、図書館振興基金の行方を見守りながら、ささやかではありますが寄付を続けていきたいと思います。 **図書館振興基金** https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/fund.html

速報！出版事業への図書館振興基金活用に関する答弁書が出されました

昨年 12 月 23 日に行われた第 2 回図書館協議会で引き続き写真集出版事業への図書館振興基金に関する審議が行われました。映像を使った事業内容のプレゼンがなされ、各委員から多様な意見が出されましたが、その詳細については次号で報告します。審議の結果、結論には至らず「議員から文書質問も出されているとのことなのでその回答も参考にして決めたい」との委員長発言で締めくくられ、再び継続審議となりました。明けて本年 1 月 14 日、市議会 HP に文書質問への教育委員会の答弁書が掲載されました（添付資料①参照）。長文のわりには丁寧な回答とは言えず、「条文に写真集を出版してはいけないとは書かれていない」「写真集の出版は貴重資料の保存に該当する」など、強弁と言わざるを得ないような条文解釈がなされており、落胆させられました。委員からは市民の意見も聞く場を設けてはどうかという意見が出され、それを受けて 1 月 19 日に TOTOMO は図書館と話し合いをする予定になっています。
（市議会 HP https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/documents/dai8gou.pdf）

鎌倉市市民活動センターには 300 を超える市民団体が登録しています。センター主催の交流会で面識を得、その後も親しく情報交換を続けているディー・ダイアログの戸村さんから寄稿いただきました。

「図書館とともだち」の皆様へ、年始の静かな図書館にて

ディー・ダイアログ　戸村 元郁

貴会の活動を知ったのは、昨年 COVID-19 の脅威が広がり日常生活も制限される中でのことでした。私たちも苦しい日々の中で今できることを模索していた頃であり、この出会いから今日まで貴会の活動からは多くのことを学び、前進する勇気をいただいています。

私たち一般社団法人ディー・ダイアログは 3.11 の後、生活のありようや社会との向き合い方について日々議論していた仲間とともに立ち上げた「デザインコモンズの形成」を目指し活動する団体です。デザインのアプローチを用いて〈今までの方法では解決し得なかった問題に対して本当に解決すべき課題を導き、進むべき未来とそこに至る道筋を設計するための技術〉を学ぶ機会づくり、国内外の横断的な人との出会いの場づくり等を行っています。

嘗てないスピードで社会が変化する中、これからは研究者やエリートと呼ばれてきた人たちに頼るのではなく、主婦、保育士、専門家、会社員等全ての人がその道の「独立研究者」としてそれぞれの方法で必要な知識や技術を創造・管理していくことが重要になってきています。

現在コモンズでは〈共に学び、それぞれの持ち場で新たな挑戦を行い、再び生じた問題を持ち寄り検証し挑戦に向かう……〉そうしたサイクルが生まれ始めています。私たちはそんな社会を前に進めようとする勇敢な人たちの中にこれからの知識社会の風景を見ています。

さて、知の発展を目指す私たちの活動の中で図書館について考えることはとても大切なことでした。
最後に新年イタリアのある街の公共図書館館長の女性から届いた言葉をメッセージとさせてください。
「私たちの親、先祖がこの仕事をする意味を教えてくれました。社会的なサービスが何を意味するのか、今このような時だからこそ問い続けなくてはならないと思っています。日本とイタリア、異なる文化を持つ私たちですが、今日、勇気とイメージする力を持ちあわせる全ての人は共に戦う仲間であり、皆の称賛を受ける価値に値するのではないでしょうか」

貴会には日本の図書館をつなぎさらにその輪を広げていただくことを期待しております。私たちも皆様を見習い、豊かな未来を目指し飛躍していきたいと思っております。

ボランティア連絡協議会報告

1．　地下道ギャラリー展報告

11 月 24 日～29 日、JR 鎌倉駅地下道ギャラリーにて、パネル展示をおこないました。今年度新しく仲間入りした「防災士ネット」と「Nami-nications」のパネルも登場しました。パネルの前には「布絵本グループはこべ」の手作り絵本や「日本語コスモス」の教材が見やすく置かれ、活動紹介に一役買いました。中でも目を引いたのが「Nami-nications」のサーフボードです。メンバーの手で楽しく描かれたボードに、多くの人が足を止めて見入っていました。

TOTOMO のパネルは随分前に作成したものですが、司書採用の陳情が議会で採択されたという情報や NPO フェスティバルでのおはなし会風景の写真と、TOTOMO ホームページに誘う QR コードを付け加えました。

地下道ギャラリー東面

2．　ミニ研修会報告

12 月 16 日(木)､委員会終了後にボランティアセンターとの共催でミニ研修会を開催しました。テーマは「聴いて納得！高齢者向け施設の種類と検討時の注意点」。介護施設研究所代表の齋藤氏にお話しいただきました。https://kaigo-home.co.jp/

一口に高齢者向け施設と言っても、元気なうちから入居したいのか介護が必要になったら入居するのか、で道は大きく分かれます。検討する時期（身体状況）によって適切なホームは変わってくるのです。高齢者向け施設の種類（特養やグループホームなど）や大まかな料金、見学のチェックポイントなどの具体的なお話もあり、皆、前のめりになって聞き入りました。

料金が安ければ悪いとは限らず、高ければ良いとは限らない。建物の立派さよりも人手が足りているか、対応がどうかが問題。見えないサービスが大事、という言葉に大きく頷きました。図書館にも同じことが言えますね。

（黒瀬聖子）

福祉センターに Wi-Fi が設置されました！

ボラ協では登録団体の円滑な活動を支援する為 2017 年に独自に Wi-Fi 契約し、ボランティア活動室 1，2，3 で利用していました。この度、市により福祉センター全館で Wi-Fi を利用できるようになった為、ボラ協の契約は解約しました。

同じく市の施設である図書館にも、一日も早く設置されることを願っています。

協働事業推進部会報告

日　時：12 月　17 日（金）15：00～16：00　ＮＰＯセンター鎌倉　2　階

出席者：4 名（欠席 2 名）、オブザーバー2　名、地域のつながり課　0 名（計　6 名）

12 月 6 日に多文化共生をテーマとする協働事業案について、NPO 法人 hinatabocco さんと、2 回目のミーティングを行いました。具体的な内容や、市にどのように働きかけるかなどの意見を出し合い、意思疎通も図ることができました。今後は「多文化共生社会の推進」と並行して「子育て支援」をテーマとして関連団体と話し合い、新たな協働事業に繋げていく予定です。

一方、鎌倉市市民活動推進委員会でも協働事業について具体的な施策や NPO センターとの連携を審議しており、当部会がどのような役割を果たせるかも考えていきたいと思います。

（黒瀬聖子）

※「鎌倉市市民活動推進委員会」は「つながる鎌倉条例」の規定により設置された附属機関です。

https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/npo/siminkatudousuisiniinkai.html

2021 年度 会員総会のお知らせ

日時：2022 年３月 13 日（日）　10：00～12：00
場所：NPO センター鎌倉

会員総会は例年１月末ごろに開催していますが、 COVID-19 感染拡大を考慮し、今回は３月開催といたします。皆様のご参加をお待ちしています。
※なお、今後の感染状況等により、更なる日程の変更もしくは開催方法が変更になる可能性があります。変更になりました場合は、再度ご案内いたします。

◎年会費納入と会員拡大のご協力のお願い◎

本年も「図書館とともだち・鎌倉」の活動が充実したものとなりますよう、
会費の納入をお願いいたします。

22 年度会費（1－12 月分）一口 1,000 円
ゆうちょ銀行振替口座番号　　00230－5－16611
ゆうちょ銀行振替口座名　　図書館とともだち・鎌倉

2021 年度　ご寄付くださった方々

☆2021 年度も多くの方にご寄付をいただきました。ここにご報告し、心よりお礼申し上げます。
綱島覚、関根肇、杉並伸也、木村みどり、高柴圭子、五十嵐廣雄、尾辻詩乃、高橋円、木村ゆき、
松本陽子、福富昭江、酒井雅江、小倉寛子、赤塚啓子、大木禮子、山下すみ子、池畑紀美代、岩澤博、
福嶋眞知子、阿部光世、吉山京子、黒瀬聖子、石井久子、阿曾千代子、丹羽芙紗子、久保礼子、
その他匿名の方々。　（ご寄付いただいた順、敬称略）

◇ ◇

ＴＯＴＯＭＯ活動日誌（11/25～1/19）

11/26　読書会
11/27　湘南邸園文化祭「間島弟彦生誕 150 年　間島夫妻の事跡を辿る」
11/28　図友連　神奈川交流会出席
12/1　近代史資料室写真集出版についての説明会
12/1　間島弟彦・間島愛子夫妻　旌徳の会
12/6　千錫烈委員との懇談
12/9　ボランティア連絡協議会役員会出席
12/16　おはなしひこうせん勉強会
12/16　ボランティア連絡協議会委員会・研修会
12/17　協働事業推進部会出席
12/22　会計監査
12/23　図書館協議会傍聴
12/23　図書館振興基金へ寄付
1/14　西鎌倉ぽっけでのおはなし会

ロビー活動　随時
定例会６回（12/1，8，15，22，1/12，19）

◇ ◇

会報 210 号添付資料①「各政党への公開質問状・回答一覧（2021・10 衆議院選挙）」の表内に誤りがありました。ここにお詫び申し上げますとともに、改めて今号に正しい資料（会報 210 号添付資料①修正版）を添付いたします。

TOTOMO COMING NEXT！　事務局からのお知らせ

あけましておめでとうございます。

今年もＴＯＴＯＭＯをよろしくお願いします！

第２４回　２０２１年度会員総会

日　時：　3月13日（日）１０時～１２時
場　所：　ＮＰＯセンター鎌倉にて
今までの活動を振り返り、今後の活動につなげるために今年度も会員総会を行います。
詳しいご案内は、添付の総会資料をご覧ください。ＣＯＶＩＤ－１９感染状況により
開催方法が変更になる可能性があります。
お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX　０４６７－２２－８５４５）まで。

おはなしひこうせん勉強会

日　時：　１月２０日（木）１０時～１２時　　場　所：ＮＰＯセンター大船
テーマ：　ファンタステッィク☆ライブラリー・110 での展示の準備を行います。
お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX　０４６７－２２－８５４５）まで。

読　書　会

日　時：　４月２２日（金）１１時～１２時半　　場　所：ＮＰＯセンター鎌倉にて
テーマ本：内田洋子著『カテリーナの旅支度』（集英社文庫）と乃南アサ著『六月の雪』
（文春文庫）です。
お問い合わせは、杉崎（TEL/FAX ０４６７-４１-４９５６）まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻　旌徳の会

日　時：　２月２日（水）１３時半～１６時半　　場　所：ＮＰＯセンター鎌倉にて
お問い合わせは、鈴木（TEL　０９０－４７２８－５２４２）まで。

ファンタスティック☆ライブラリー１１０

日　時：　２月１１日（金）～３月１３日（日）　　場　所：　市内各図書館
図書館を中心にかまくら女性史の会、松坡文庫研究会、ＴＯＴＯＭＯ（おはなしひこうせん、
間島弟彦・間島愛子夫妻　旌徳の会）のパネル展示、インターネット配信などが行われます。
詳細は、Ｐ８の案内をご覧ください。お問い合わせは、市内各図書館まで。
※メールでのお問合せはこちら⇒chulib@city.kamakura.kanagawa.jp

※上記の各会については、ＣＯＶＩＤ－19 感染の状況により、変更になる可能性があります。
参加される方はＴＯＴＯＭＯのＨＰやＦＢでご確認いただくか、お問い合わせください。

☆図書館友の会全国連絡会
図友連では各地で地域別交流会が行われています。11 月 28 日、神奈川県内の会員による「神奈川交流会」が平塚にて開催されました。久しぶりの対面の集まりは数時間にわたる充実した内容となりました。
お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX：0467-45-5731）まで。

編集後記　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊
☆会報づくりとＦ☆Ｌの準備が重なり、バタバタの年末年始でした。これから読書会のテーマ本を読みたいと思います。(A.S)
☆鎌倉の三が日は快晴、気持ちの良い年明けとなりました。「思いっきり遊ぶ」「行きたい街に・国に旅する」「みんなで集まって騒ぐ」などに STOP マークのかかった日々ですが、気持ちは自由に。本の中の世界で作者と語らう時空を超えた旅に出てみては？ (M.S)

題字・巻末カット：小島寅雄　　2022 年 1 月 19 日発行
図書館とともだち・鎌倉（代表：和田安弘）編集：阿曾・黒瀬・目黒・杉崎・斉木
事務局：〒248-0005　鎌倉市雪ノ下 1-14-34（黒瀬）TEL/FAX 0467-22-8545
ＨＰ：http://totomo.sakura.ne.jp　E-mail:toshokantomodachi@gmail.com